



川上 大雄 =ちょっと早いですが、年末のご挨拶に芦屋の食卓シリーズの“そばつゆ”“とりだし”“香りだし醤油”をお持ちしましたので是非ご自宅でお楽しみ下さい。もうてばかりで悪いなあと思われる方は、是非御歳暮・ご自宅用にホームページでご注文いただきまうよう、よろしくお願いします。

久保田秀一 =寒くなって来ました。みなさん体に気をつけましょう。

大屋 準一 =原節子さんが他界されました。北の湖さんに続いて最近亡くなる方はほとんどの人が知っている人です。まさに「オールドブラックジョー」の心境になっています。

斎藤 清貴 =季節が変わりました。急に寒くなりましたね！

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 12000円	今年度合計 4171734円
---------	-------	------------	----------------

## クラブフォーラム(11月27日)

ロータリー財団委員会 高野 幸雄 委員長

「財源と補助金について」

1.ロータリー財団の財源(活動資金の原資)

①年次基金への寄付

奉仕プロジェクト(PJ)に対する補助金等、各クラブの奉仕活動や活動プログラムの支援に充てられる。【本年度2660地区の目標150\$/一人】

年次基金寄付にポリオプラス基金を加算し、寄付累計1000\$を寄付すると、ポールハリスフェローの称号を与えられ、更に1000\$増える毎にマルチプルポールハリスフェロー1回目.2回目と呼ばれる。

②恒久基金への寄付

寄付金の元金はRIに永久に貯蓄され、その運用益のみが財団の活動プログラムに充てられる。恒久基金に1000\$を寄付する毎にベネファクターという称号が与えられる。

③ポリオプラス基金への寄付

ポリオプラス・プログラムに対する限定的な寄付で、ポリオ撲滅はRI及び財団の第一優先活動項目にあげられている。【本年度2660地区の目標50\$/一人】

2.補助金の種類

①グローバル補助金【GG】

(6重点分野における大規模な国際PJを支援する)

PJ総額 30,000\$ 以上に対して

補助金額 WF(国際財団活動資金) 15,000\$ 以上

DDF(地区財団活動資金) 20,000\$まで(代表提唱) / 5,000\$まで(共同提唱)

②地区補助金【DG】

(地元と海外における奉仕活動を支援する)

PJ総額の下限は無し

補助金額 DDFのみ 基本として、対象となる活動費の半額

何れの補助金申請に際しても、年次基金への寄付実績により受け取る補助金額に影響が出ます。

1人当たりの年次基金寄付額が 150\$以上 ⇒100% ・ 100~149\$ ⇒90% ・ 99\$以下 ⇒80%

寄付を实践し、奉仕活動に還元することが大切です。

## クラブフォーラム(11月27日)

社会奉仕委員会 小山田 光正 委員長

「第14回ロータリーXmas in USJ」実施要項

1.目的 テーマ:「こどももおとなも笑顔満開♪」

日頃は施設で集団生活を送る幼い子供たちに家庭的な温もりを感じてもらえるよう、一対一で手をつなぎ、心の触れ合いを大切にしたい奉仕を目指します。安全を第一に、「こどもたちの笑顔が満開」の一日になるよう、頑張りましょう。

2.招待施設

田島(たしま)童園(子供19名・引率5名) 3才~小6 ・ 海の子学園入舟寮(子供25名・引率5名) 4才~小6

3.参加者(総勢 107名)

招待児童 44名(幼児14名・小学生30名)(男子14名・女子30名) ・ 施設引率 10名 ・

当クラブ会員 26名(会員25名+事務局) ・ 外部参加者 27名

#### 4.班分け

14班編成(施設の引率の先生は各班には加わず、園内を別行動)

ハリリーポッター班2(EXP5使用)・通常班7(EXP3使用)・ワンダーランド班5(EXPなし)

#### 5.スケジュール (パーティ終了時間はその後変更の可能性があります)

9:30《時間厳守》会員、関係者はUSJメインゲート地球儀前に集合・班ミーティング

10:00 児童到着・全体写真(施設ごと)を撮影後に入場 → 班別行動

13:25《時間厳守》「ロンバースランディング」2階に集合 (必ずトイレをすませて)

13:30~15:00 クリスマスパティー(昼食はみんな一緒にここで食べます)

15:00 児童お見送り(会員7~8名がゲートまで見送り)

15:30~16:45 お疲れさま会(同会場で)

#### 6.今回変わった点

①昼食は各班では取らず、みんなで一緒にパーティー会場で食べます。

パーク内でめいっぱい遊び、13:25分にロンバース2階に集合です(時間厳守)

②大人はパーティープランについている食事を15:30からのお疲れさま会で取る事になります。昼食は軽食のみのご用意です。

③ミルククーポンは子供一人2,000円分を配布。ポップコーン等の購入に使って下さい。

④ロンバースパーティプランに入場券が付いているため、クラブで年パスは購入しません。

### 11月20日の卓話 「Why I came to Japan? Congo Bright Mind」 記

多くの研究者はいまだに理解しがたい疑問を追及してきました。その一つは、なぜ日本やアメリカの様な国々は豊かなのか、一方アフリカのコンゴ共和国やその他の国々はなぜそんなに貧しいのか? そして二つ目は、貧困国の人々はどうして貧困というサイクルの中に入ってしまうのか。このような同じ疑問が私の心をかりたて日本に来ることになりました。

①Why did I come to Japan? どうして私は来日したのか?

日本はいつも発展のモデル国として考えられていました。ロータリークラブでの私のプレゼンテーションで皆さんにコンゴ共和国を紹介しましたが、出席者の中でこの豊かなアフリカ大陸に行かれたのはたった一人でありました。ダイヤモンドを始め色々な天然資源が豊富にありますが、コンゴ共和国は未だに国連の人道開発計画(UNDP2013)で187番中186番目であることを強調したいです。それ故、私が来日致したのはコンゴ共和国の発展の為に教育に焦点をあてたメカニズムをこの日本で多く学ぶことだと申し上げたい。

②Congo Bright Mind(NGO) 「コンゴ国の輝く心」

教育とは国家を発展させる為に親達から子供へ上手く受け継いで行かなければならない教えや知識のサイクルであります。コンゴ共和国では不幸にも政治、経済の不安定化により、ここ数十年において教育の質がひどく悪化しておりました。これらは普遍化した腐敗、戦争、そして飢饉等によって引き起こされています。「Congo Bright Mind」を通して私は強く信じていますが、私達は教育、訓練、知識、そして若者達とコンゴの知識人の変化を促していくことが出来るでしょう。

そして人生の多様な範囲において人々の能力と技能の欠乏から引き起こす文盲、失業、未開発に対して挑戦しなければなりません。そして才能ある子供達に日本のすばらしい発展を見本と致しまして、全社会の利益をもたらす彼等の高い知識を活用できるフレームワークを作りたいと思っています。さらに世界の研究者達にその協同作業の円滑を促したいです。

(翻訳 : 東健三会員)

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか